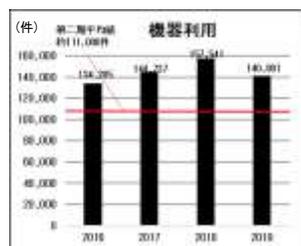


第三期(平成28年度から令和2年度)の主な取組・成果

- 第三期中期計画における数値目標は**現時点で概ね達成**
第二期から第三期にかけて技術相談や機器利用等大幅に件数増加
- ロボット開発やIoT導入支援等、**新たな技術課題にも対応**
共同研究によるロボット分野の製品化・事業化の促進、IoT支援サイトの開設
- 中小企業振興公社や金融機関等と**連携した支援を充実**
例：東京きらぼしFGなどの連携協定締結機関との連携相談や技術審査への協力など



機器利用の支援件数の推移



共同開発したロボットの実証実験



連携支援例

産技研を取り巻く環境等

【都の計画・方針】

- ・ 『未来の東京』 戦略ビジョン⇒**スタートアップ支援の充実**
- ・ スマート東京実施戦略⇒ Society5.0をはじめとする**高度化・複雑化する技術課題への対応**
- ・ 食品産業振興に向けた支援方針⇒**消費者ニーズの多様化**に伴う食品産業における技術的課題への対応

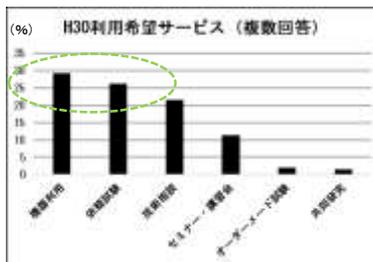
【外部環境】

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、3密を避ける**新たなライフスタイルへの転換**が求められる。



ドアオープナー

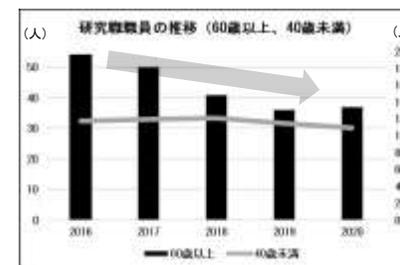
製品開発につながるサービスに対する希望が多い



H30 都産技研の利用に関する調査

【内部環境】

技術力のあるベテラン職員が減少若手職員数は横ばい



研究職職員数の推移

第四期中期目標案の概要

第四期(令和3年度から令和7年度)に向けた課題

① 事業化を見据えた支援

ICTツール等を最大限活用した**切れ目のない支援**の展開が必要

② テクノロジーの進展や多様化する社会ニーズへの対応

最先端技術や成長分野、非接触技術のニーズに対応した体制づくりが必要

③ 新たなプレイヤーとの共創

オープンイノベーションによるマッチングや**スタートアップ企業への支援強化**のため新たな仕組みづくりが必要



第四期中期目標の視点

視点1

東京の中小企業の技術力と稼ぐ力の底上げ

- ・ **研究開発の成果**を中小企業の製品・技術開発へつなぐ
- ・ 多様化する技術課題に対して**ワンストップ**で対応
- ・ 職員の**技術支援力の強化**

視点2

先端技術や社会ニーズを捉えた東京の産業力強化

- ・ **5G**など、**先端技術導入**に向けた支援の充実
- ・ 新たなビジネスが期待できる**食品・医療**などの分野への**技術支援のレベルアップ**
- ・ **3密の回避**など、**新たな生活様式の実践**に必要な**技術支援**を展開

視点3

産技研の資源やネットワークの効果的活用

- ・ 産技研の施設等豊富な資源を活かした**オープンイノベーションの促進**
- ・ **研究開発型スタートアップ**の事業化までを**強力に支援**

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項(施策に関する項目)

- (1) 中小企業の技術的課題の解決や事業化を見据えた総合的支援
 - ・ 企画開発から事業化に至るまでの各段階において、切れ目のない技術支援を展開
 - ・ 事業化・製品化の促進に向けて、中小企業との共同研究の成果に対するフォローアップの強化
- (2) 産業の発展と都民生活の向上を目指したプロジェクト型支援
 - ・ 5GやIoT・AIをはじめ、成長分野における中小企業の製品化・事業化を支援
 - ・ 食品分野などにおけるバイオテクノロジーを活用した開発支援
 - ・ ロボット技術などによる非接触・非対面サービスに資する製品開発の支援
- (3) 中小企業等の新事業展開支援
 - ・ 他の企業や大学等を巻き込んだオープンイノベーションの促進
 - ・ 多様な機関と連携し、研究開発型のスタートアップ企業を支援
- (4) 地域や支所の特色を活かした支援、産業人材の育成、情報発信の推進
 - ・ 食品技術センターとの統合により総合的な支援を展開
 - ・ 人材育成にかかるセミナーのオンライン化や、研究発表会・広報媒体のデジタル化を推進
 - ・ 都産技研の優れた成果を発信するため、戦略的な広報活動を推進

2 業務運営の改善及び効率化、社会的責任等に関する事項

- ・ 都産技研自身のDXを進め、効率的な業務運営や利用者の利便性向上を図る
- ・ 業務内容や処理手続きを見直すなど業務改革を推進
- ・ 内部統制によるガバナンス強化とコンプライアンスの推進